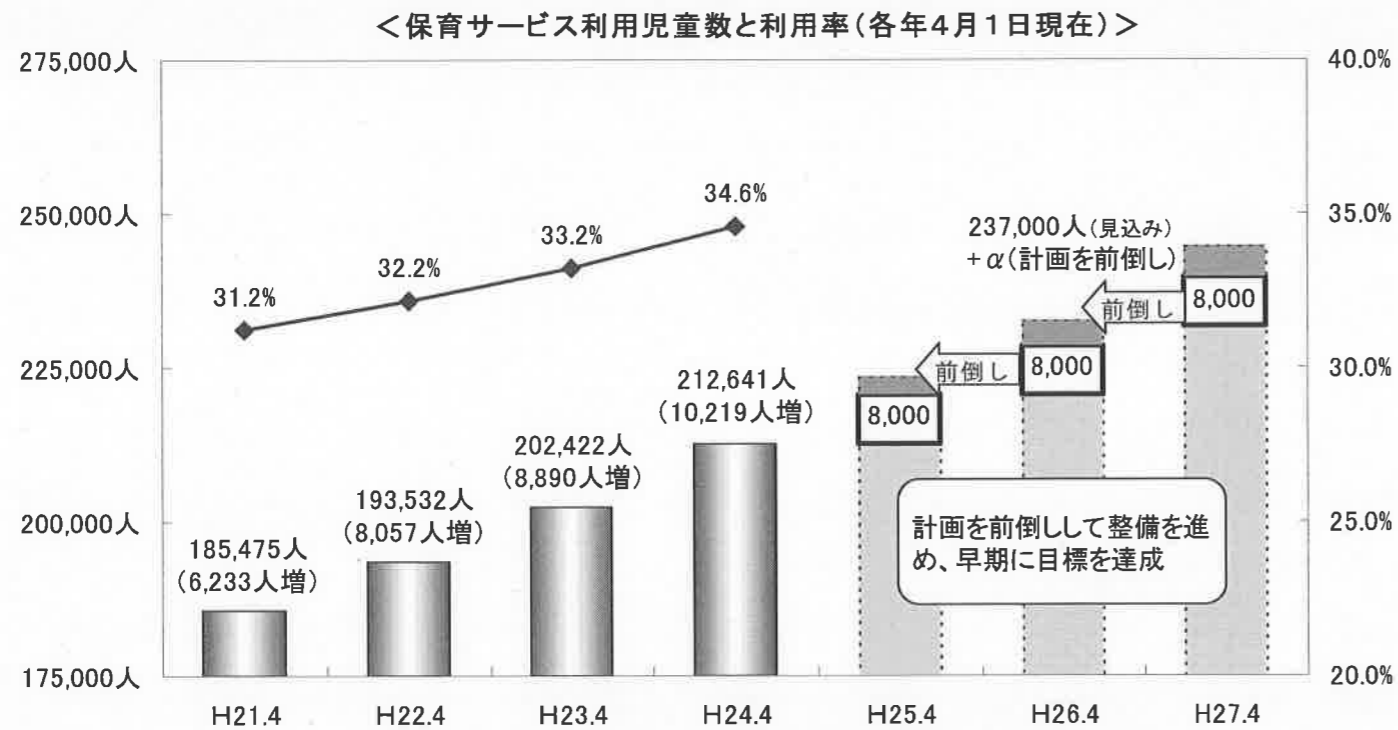


保育サービスの更なる拡充

現状と計画

- 保育ニーズ全体の増加により待機児童数は横ばい
⇒ 平成21年度からの3年間で就学前児童人口が2万人増加、就学前児童人口に占める保育サービスを利用する児童の割合は31.2%から34.6%に増加
- 今後も保育ニーズの増加が見込まれることから、都は、区市町村に更なる働きかけを行い、保育サービス拡充に向けた計画の前倒しを目指す



(H24.4.1 現在) (単位:人)

	H21.4	H22.4	H23.4	H24.4	3年間の増減
就学前児童人口 (a)	594,272	601,368	609,128	615,228	20,956
待機児童数	7,939	8,435	7,855	7,257	▲ 682
利用児童数 (b)	185,475	193,532	202,422	212,641	27,166
(増加数)	6,233	8,057	8,890	10,219	3,986
利用率 (b/a)	31.2%	32.2%	33.2%	34.6%	3.4%

	利用児童数	割合
認可保育所	185,263	87.1%
認証保育所	20,065	9.4%
家庭的保育	1,866	0.9%
その他	5,477	2.6%
計	212,641	100.0%

平成25年度の主な取組

保育サービスの拡充

＜保育所整備等の促進＞

- ◆ 待機児童解消区市町村支援事業
保育所等の整備費補助に係る事業者や区市町村への補助率を都独自にかさ上げ
- ◆ 保育所緊急整備・マンション等併設型保育所設置促進事業
国の安心こども基金を活用して保育所の新設・増改築等を支援
- ◆ 都用地を活用した保育所の設置促進
保育所用地として都用地を減額貸付け

＜多様な保育サービスの提供＞

- ◆ 認証保育所・家庭的保育・事業所内保育 の推進
- ◆ 小規模保育の整備
子ども・子育て支援新制度の実施を見すえ、区市町村が独自に実施する定員19人以下の小規模保育の整備を先行して2年間支援

保育人材の確保

- ◆ 保育士実態調査
対象者： 直近5年間に保育士登録されている「保育士」
調査内容： 就労継続意向、継続に向けた課題、離職理由など
※ 調査結果を踏まえ、就労定着や離職防止策を検討
- ◆ 保育人材確保事業
保育士就職支援研修と就職相談会を一体的に実施
- ◆ 現任保育従事職員資格取得支援事業
保育士の資格取得を目指す保育従事者を支援し、人材を確保